

83

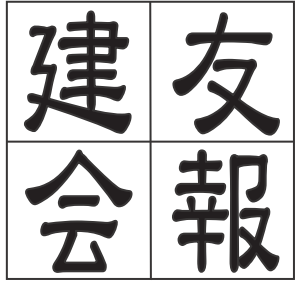


大同団結・互助互恵

発行人：早坂 竜太

古工建友会事務局 〒989-6145 宮城県大崎市古川比羅葉3-13-21古工建友倶楽部内

Tel&Fax 0229-24-3711 http://kenyukai.net E-mail:f_kenyukai@ybb.ne.jp



平成の



インターンシップって

目的>産業現場実習(インターンシップ)を通し、実践的・体験的学習をすることによって、学習内容の深化・職業観の育成を図ると共に、将来進路選択の一助とする。また、実社会の体験を通して社会人の基本的資質を身に付けさせると共に、地域企業との相互理解を深め、将来地域産業に貢献できる心豊かな人材を育成する。

実施学年>古川工業高校 建築科2学年 男子22名 女子18名(平成30年度実績)

何ぞ？

第1回(平成15年)



第1回産業現場実習を終えて

事業部長(当時) 原 清人(20回)

「先生。このような現場実習を企画して頂きありがとうございました。」産業現場実習の最終日、報道機関のインタビューに答えたある生徒の言葉である。

「産業現場実習(インターンシップ)を計画しているので、建友会の事業の一環として協力いただけませんか。」

母校建築科、西尾科長より建友倶楽部館長菊池先生を經由し、メールが届いたのは5月末であった。『建築科2年生、39名の将来の進路選択の一助ともなり、実社会の体験を通して社会人の基本的資質を身に付けさせると共に、将来地域の産業に貢献できる心豊かな人材を育成することを目的とする。』産業現場実習の実施計画案だった。昨年度より業界に打診し今年度正式に依頼する予定が「景気の情勢により受け入れ困難。」との返答を得ての要請であった。『「互助互恵」のころをもつて後輩の学習と成長を援ける』という古工建友会憲章にのっとり、事業部会が協力し「何とか実施できないだろうか？OBに頼んでみよう。」ということになった。

8月末、建友会OB会員の企業、OB会員が在籍している官公庁及び地域の企業に実習生の受け入れのお願いに回った。9月初め、快く引き受けていただいた企業、官公庁は17社になった。その後、事前打ち合わせを経て行われた面接も生徒にとっては将来の就職活動に大いに役立ったと思う。そして10月、4日間の実習は行われた。

第1回の産業現場実習を振り返ると、冒頭の生徒の感謝の言葉が思い出される。実施できてよかった。彼らが近い将来建友会を背負ってくれることを願ってやまない。受け入れいただいた企業、官公庁の建友会員の皆さまには本当に感謝に堪えません。紙面をお借りして御礼申し上げます。

第16回(平成30年)



産業現場実習を終えて

事業部長 小坂井康弘(45回)

平成最後の産業現場実習(インターンシップ)が平成30年10月9日～12日までの4日間にわたり、皆さまのご協力のもと無事に終了することが出来ました。

平成15年より始まったインターンシップも第16回を数え、これまでにご協力いただいた受入企業各位、官公庁の皆さまには深く感謝申し上げます。

在学中にこのような実習を経験する後輩の皆さんには、今後の人生において大きな財産になると確信しています。このインターンシップによる経験が、役に立つ場面が必ず訪れることでしょう。

仕事に取組む姿勢や、現場でのコミュニケーションの必要性などは、いくらAI(人工知能)が進化しても無くなることはありません。「人と人」との関係を通し、しっかり「挨拶」や「言葉のキャッチボール」が出来る社会人になって欲しいと願っています。そのためには自分の能力や希望に沿った将来を見据え、迫る就職活動に対する心構えを作っておく必要があると考えます。

建友会の理念の一つである『後輩の健全な育成』の一助ともいえるインターンシップが、後輩諸君の将来進路選択の一役を担うことが出来るよう、今後も『大同団結・互助互恵』の精神をもって続けて行きたいと思えます。

古工建友会は偉大です！感謝！！

平成のインターンシップって

古工建築科2年生対象。毎年10月、建友会事業部と大崎設計事務所協会はじめ大崎地域の建設関連企業の全面的な協力により実施される。平成15年の第1回より、平成30年第16回までの受入れ企業は34社。受入れ企業を招いた報告会が毎年11月に開催される。



第1回 (平成15年)



1日目	施工計画書・安全管理書類の説明 基礎幅の墨出し
2日目	工事写真の撮影 トランシットのすえつけ、実測
3日目	外壁改修工事現場の工事概要 土間下断熱材の固定作業
4日目	コンクリートの数量計算 工事写真の撮影

「産業現場実習の反省・感想」

大友 寛晶(57回)

今回の現場実習では、色々な事を学んだり体験することができました。

まず、現場では作業を分担し、それぞれの担当者が責任を持って作業を行うという事を学びました。また、今回実習をした現場管理という仕事は、実際の現場に出て作業・管理を行うと言うよりは、それぞれの職人の方々の方が速やかに作業を行うために、書類関係の整理をしたり、設計図をもとに更に詳しい図面を作成したりする仕事だということも学ぶことができました。

その現場管理の仕事では、工程表の作成をしますが、実際は天候の影響であったり、設計図の変更があったりで、最初の工程表通りに作業を進めることはとても難しい事だということも学びました。

現場管理と言う仕事は、建物の設計者と実際に作業を行う職人の方々との間に入って、その2つをつなぐ役割を持つものだと思います。そのため、自分の仕事・役割をしっかり把握して、設計者や職人の方々とはお互いに尊敬し信頼しあえなければいけないなと思いました。

指導助言 (抜粋)

建設現場では、外に出て作業するよりも書類を作ったりする方が多く大変です。特に工程表は大切です。天候によって計画通りに作業できない事もあるので、その調整も大事な仕事です。

(株) 仙北建設 佐藤

第1回 (平成15年)

➤良かった理由

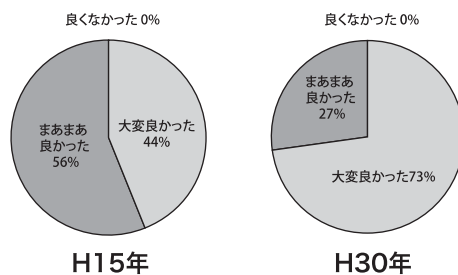
- ・社員の方に大学の選び方や進路選択についての話が聞けたから
- ・設計の大変さを実感できた
- ・企業の仕事内容を知ることができ、学校ではできない事が体験できるから
- ・社会の厳しさと自分の無力さが分かった

➤現場実習を経験して感じた実社会のイメージ

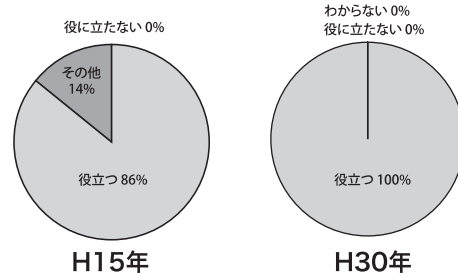
- ・人との関わり・つながり・挨拶が大事
- ・仕事を思い通りに進めるのがとても大変
- ・今の時代は大学を出ないと就職が難しい
- ・疲れるけど自分の好きな仕事なら楽しく出来ると思った

インターンシップに関するアンケート

現場実習を経験して良かったと思いますか？



現場実習の経験が進路選択に役立つか？



第16回 (平成30年)

➤良かった理由

- ・将来について考えることができたため
- ・学校では経験できないことを沢山経験できた
- ・建築のことだけではなく人として大切なことも学べたから
- ・その仕事の一つ一つの大切さを教えていただいたから
- ・現場の雰囲気を学べたから

➤現場実習を経験して感じた実社会のイメージ

- ・雰囲気が良く楽しそうだった
- ・自分で考え行動し、周りの人とのコミュニケーションが大事
- ・2日間だけでも大変なのにそれを何十年もつづけるのは難しいと思う。しっかり将来について考えなければならなかったと思う
- ・やりがいを持って仕事に取り組む姿勢がカッコよかったです

受入れ先企業➤大崎市役所・(株)古川土地・(株)三塚内装・新日本商事(株)・積水ハウス(株)東北工場・大和ハウス工業(株)東北工場・鶴秀工務店(株)・(株)アルプスビジネスクリエーション宮城・(株)仙北建設・(株)藤山工務店・(株)村田工務所・丸か建設(株)・(株)檜工務店・ONO一級建築士事務所・跡部建築設計事務所・原建築設計事務所

第11回(平成25年)

鶴秀工務店(株)

「現場実習を終えて」

佐藤 みゆき(67回)

2日間、本当に短く感じました。社長さんから頂いた言葉はこれからの為になるものばかりでした。

1日目は「整理整頓すること、挨拶をしっかりすること。」この2つが一番大事だと教えていただきました。社内はいろいろな資料がきちんとまとめてあり、木材がある倉庫の中もすっきり整理整頓してありました。前の日にきちんとおけば次の日の自分のためになる。と教えられ、忙しいことを理由に片付けをしない私の心に響きました。

実際のリフォーム現場に同行し、そこで作業をしていた従業員の方に「リフォームは壊してみないとわからない。どんなに古くても手直しすれば新築みたいになるんだよ。」と教えていただきました。どんなに大変な仕事でも引き受けて期限内に間に合わせる。聞く分には当たり前だろうと思いますが、これがとても大変で大切なことだと感じました。

今回のインターンシップでは、仕事はもちろん人間性についても多くのことを学びました。2日間という短い期間でしたが「社会に出てこんな経験すること少ないと思うから、たくさん吸収してくださいね。」と社員の皆さんから言っていただき、今までの自分を見直すきっかけとなりました。これからの自分についても勉強できる貴重な機会となり、たくさんの人たちの協力のもと、成り立っていることに本当に感謝しています。



受入れ企業側から見たインターンシップ

鶴秀工務店(株)専務取締役 鶴谷 隆二(57回)

何らかの形で地域に還元したいという想いから始まったインターンシップも気づけば16年目。毎年新しい生徒が顔を見せるたび、社会人の先輩としてお手本にならねばと社員の気も引き締まる思いである。

受け入れ企業の立場からすると職場体験を行う事による時間的なロスは少なくは無い。私たちの様に少人数で仕事をまわしている会社とすれば当然に通常業務との兼務となるため、時には業務の支障になる事もある。

しかし、生徒を通して会社の姿勢や考え方を地域の皆様に知って頂けることは、地域に根付いた企業としてはそれ以上にメリットが大きい。なによりもこれからの将来を担う若者たちに建築という仕事に対して興味を持っていただけるきっかけになれる事が何よりの収穫である。

当然、私たちにも課題はある。ひとつは長く続けている中で体験内容が形骸化している事。また、生徒を「お客様」として扱う感覚も否めない。

本当であればもっと実際に働くという事を実感できるような実務に近い所での経験をさせてあげたいと考えているが、時間的な制約や生徒の安全を第一に考えるとなかなか前線に送り込むことは出来ない現状がある。その事が本当に生徒の将来の進路選択の一助になっているのか分らなくなる時もある。

参加する事で、将来について真剣に考えられるきっかけを与えられるような体験内容をしっかりと考え、その場限りの職業体験にならないように努めることが受け入れ企業側の課題ではないだろうか。

第15回(平成29年)

(株)高勝リフォーム

「インターンシップを終えて」

高嶋 ひなた(71回)

2日間高勝リフォームさんでお世話になり、貴重な経験をさせていただきました。一つ一つが初めての経験で緊張するとともに学ぶことも多かったです。

1日目の接客実習では「自然な会話の中でお客様の要望や情報を聞き出す」ことを心掛けて行いました。しかし、ぎこちない会話になり、接客業務は簡単ではないということに改めて感じました。午後には現場確認に同行させていただき、お風呂などのリフォーム工事を見学しました。リフォームの現場を見学したのは初めてだったので、工事中もご家族がお住まいになっているのに驚きました。お客さんと工事を行っている職人さんとのコミュニケーションが何よりも大切なことなのだなと感じました。

2日目に社長さんとお話する機会をいただき「夢は何?」と質問されました。私は答えることができませんでした。「どんなものでも良いから夢を持つことで、そのために頑張ろうという気持ちが生まれ、毎日が意味のあるものになる。」とお話いただき、将来どんな大人になりたいのか考えるきっかけとなりました。

お忙しい中、2日間インターンシップをさせていただきありがとうございました。この経験を自分の将来に活かしていきたいと思っています。



インターンシップを通して伝えたいこと

(株)高勝リフォーム 工事部長 野津 祥明

今回のインターンシップにおいて、3名の生徒を受け入れました。3名とも初めて見るものに対しての興味・関心が強く、学ぶことへの意欲的な姿勢が見られました。現場見学では、職人さんから色々なことを教わったり、教科書に載っているものが改良されていたり、学校での学びとは少し違う部分を発見したりと、多くの学びがあったようです。またショールーム見学では最新の住宅設備に触れてもらい、実際の接客体験ではその商品の良さを相手に分かりやすく伝える事の難しさを実感したようです。

インターンシップでは、普段はなかなか見ることのできない建築の現場を実際に見ることや、実際の仕事を体験することにより建築に対してさらなる関心を持ってもらえればと考えておりました。その点、今回は多くの学び・発見によって、建築に対しての生徒たちの気持ちは強まったのではないかと感じました。また、この経験により今後の進路の幅が広がったということで、企業側としても嬉しい限りです。

今後もインターンシップを通して、実際の職場や建築現場に触れてもらい、更に建築に興味を持ってもらえるよう、建築の素晴らしさやものづくりの楽しさというものを伝えていきたいと思っています。

受入れ先企業▶佐々木幸正建築設計室・鬼沢建築設計室・佐々盛一級建築設計事務所・(有)中央建築設計事務所・菅原政隆建築設計事務所・孝設計・大友工務店(株)・(有)白鳥設計・鈴木建設(株)・(株)ATM都市建築デザイン事務所・(有)テラ構造設計・加美町役場・(株)タカカツ・(株)高勝リフォーム・青木工務店・宮城県大崎土木事務所・佐信木材(株)・(株)木材スーパーエンドー(順不同、敬称略)

～ 平成31年3月 完成予定 ～



大崎広域消防本部・古川消防署建設工事 (建築工事) フジタ・古川土地・仙北建設 工事共同企業体



昭和47年創業…

「不動産」と「建設」



株式会社 古川土地

代表取締役 早坂 竜太

■本社 / 大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

TEL.0229-23-8484

■建設事業部 / 大崎市古川鶴ヶ埦字新江北125番地1

TEL.0229-23-1192

ホームページ<http://www.yoitochi.com> Eメールhonsha@yoitochi.com



株式会社フジタ 東北支店

支店長 下田平 滋

仙台市青葉区国分町 2-14-18 定禅寺パークビルディング
TEL 022-262-1601



地域と共に 新しい明日を築く

株式会社仙北建設

代表取締役 高橋 克幸

TEL.0229-23-7722 FAX.0229-23-7718
大崎市古川中里3-9-18 <http://www.senpoku.net>

建築科ニュース

おおさきの魅力発信！「湯ですぜ！」ダンス部出演

大崎市公認 DA PUMP「U.S.A.」替え歌【ようこそ宮城県大崎市へ！】C'mon, baby オオサキ【湯ですぜ！】に本校ダンス部が出演している。総勢45名のダンス部員のうち10名が建築科所属。世界農業遺産認定や鳴子温泉郷など地域の魅力を発信。1月1日現在、YouTube 動画再生回数は55万回を超えている。

YouTube 検索



U.S.A. DA PUMP 大崎市
大崎市公認 DA PUMP / U.S.A. 替え歌 C'mon, baby オオサキ【湯ですぜ！】(エンドロール付き)

津山町林業体験 (7/11) (12/4) 1年生33名

7月11日、津山町林業研究会の指導のもと、先輩方が植えた杉苗の下草刈りを体験した。また、12月4日には、間伐体験も行った。これらの林業体験は、宮城県が行っている循環型社会に貢献できる産業人材育成事業の一環として1年生が取り組んでいる。



津山町工房体験 (7/26) 3年生 15名

課題研究建築工房班の生徒15名が夏休み中に津山町を訪れ、矢羽根細工の工房体験を行った。今年度も講師は工人の佐々木喜市氏。



職場見学会 (8/28)

恒例の職場見学会を各学年で実施した。1年生は、「住宅展示場とスモリの学校」を見学、2年生は「積水ハウス東北工場と大崎広域消防新築現場見学」、3年生は「女川の復興状況」を視察後、建友倶楽部を訪問した。



就職模擬面接 (9/4・5・6) 3年生 26名



今年度は、9月4・5・6日の3日間で26名の就職希望生徒が、模擬面接を受けた。面接官はのべ17名。小坂井事業部長から受け答えの引き出しを沢山作り、詰め込まない様にとアドバイスを受けた。

「古工展」(10/20) おばけ屋敷 優秀賞に輝く！

今年のテーマは「古工展に はいひょっこりはん〜隠された力を発揮するときが来た〜」。生徒会執行局や実行委員会が中心となり企画・準備を行った。建築科生徒関連の受賞は次の通り。

来場者数862名。

- ◆ステージ発表部門
優秀賞 吹奏楽部
- ◆中夜祭
特別賞 A2
- ◆展示発表部門 優秀賞
A1 おばけ屋敷



高校生ものづくりコンテスト宮城県大会 (11/3)

制限時間2時間30分で小屋組の一部を製作する「ものづくりコンテスト宮城県大会木材加工部門」が、多賀城市の宮城職業能力開発促進センターで実施された。本校から3名の生徒がエントリーし建築2年の荒木優太君が第7位となった。



3年生対象 住宅省エネ講習会 (12/5)

平成32年までに全ての新築住宅において、省エネルギー基準の適合義務化が予定されている。これからの住宅設計・施工において、省エネに関する知識・断熱施工技術は欠かせないものとなっており、3年生を対象とした住宅省エネルギー施工技術講習会を実施した。(一社)宮城県建築士事務所協会の主催。講師は(有)白鳥設計 代表取締役 白鳥淳氏(22回)。

今春卒業の「建築科71回生」 希望進路ほぼ達成！

昨年に続き好調な求人に支えられ、ほぼ全員が希望進路を達成した。民間就職27名、公務員1名、進学11名、縁故1名。

Information

大同団結・互助互恵

北から南から～事務局把握分

(平成30年7月以降判明分)

※個人情報保護のため、個人の住居を簡略表示とし、電話番号も掲載いたしません。

☆ <敬称略>

旧1～70回

- ◆2321千田喜美夫 まるせん(自営)
- ◆2904伊藤 良則 シグマ建工(株)
- ◆2938三浦 勝則 (株)イシケン
- ◆4625高橋 順子 フジ地中情報(株)
- ◆6610大黒さやか ヤマギシリフォーム工業(株)管理本部
- ◆6627菅原 麻衣 住友不動産(株)戸建リフォーム事業所宮城営業所
- ◆7005伊藤ミユキ (株)グランコーポレーション宮城工場
- ◆7018佐々木ひかる みどりの農業協同組合
- ◆7034松橋 理乃 アルプス電気(株)古川工場

古工建友会事業記録

(平成30年7月～)

■大崎青年部「第21回菊池杯争奪歓迎送別ボウリング大会」

[7月21日(土)・三本木ビックボウル・15名]

優勝は藤山大崎支部長。70回生の新入会員も参加し大変盛り上がりました。(部長 高橋 俊大・58回)

■第27回栗原支部総会

[8月25日(土)・アロマゲート・出席8名]
総会では役員改選の議案が提案され、役員全員が留任となりました。
(幹事長 高橋 誠一・36回)

■建築科3年生古工建友倶楽部訪問

[8月28日(火)・47名]
毎年恒例の建築科3年生による倶楽部訪問が開催されました。平成最後の卒業生は71回生40名。

■就職模擬面接

[9月4・5・6日・古工建友倶楽部・模擬面接希望26名・面接官延16名]
今年の就職希望者は26名。生徒の皆さんは緊張の中で、しっかり受け答えが出来ていたと思います。

<面接官>佐藤忠徳(21)、宮澤忠一(21)、佐々木幸正(27)、猪股昭一(29)、木村哲夫(29)、藤山吉彦(30)、門脇二郎(37)、鎌田孝志(39)、佐藤 優(42)、遠藤ゆり(45)、小坂井康弘(45)、三塚猛(42)、高橋俊大(58)
(事業部長 小坂井 康弘・45回)

■第26回北海道支部総会「北の大地の集い」

[9月29日(土)・串鳥番外地・出席6名]
参加者も高齢となり今年の総会は6名の出席。懇親会に移ると会話も盛り上がり、来年も開催実施で決定し散会となりました。
(支部長 千葉 敏明・20回)

■第14回仙台支部ゴルフコンペ

[10月5日(金)仙台ゴルフカントリー倶楽部・参加12名]

■第40回仙台支部総会「伊達な集い」「伊達な青年部の集い」

[10月5日(金)・パレスへいあん・出席24名]
第40回を迎える「伊達な集い」は総勢24名の参加。同日開催のゴルフコンペでは最年長10回生柴田重男氏が見事優勝!来年も変わらず皆さんにお会いできることを楽しみにしています! (幹事長 遠藤ゆり・45回)

■第32回関東支部総会「関東支部・青年部合同のつどい」

[10月20日(土)・ホテルニューオオタニ宴会場・出席24名]
今回も本部より来賓の方々、賛助会員の方々にも参加頂き盛大なつどいとなりました。懇親会では、大河内五郎先生の追悼DVDを放映し、締めには早坂会長発声の下、校歌斉

INDAC

東北生まれの超難燃高断熱ボード

サーマックス

αシリーズSⅢ (開発品)

高性能断熱材の硬質ウレタンフォームを進化させ、難燃性・防炎性を高めたPIR(ポリイソシアヌレートフォーム)の建築用断熱ボードです。
20mm～200mm厚※までのご希望の厚さに対応します。

広範囲な耐熱性能 (-30～+120℃)

不燃材料認定取得 認定番号:NM-4810

※2019年春以降対応可能

熱伝導率
0.020
W/(m·k)

アルミ箔面

アルミ箔面

PIR(ポリイソシアヌレートフォーム)

1200℃で5分燃焼しても炭化して形状維持!

お問合せ

製造元:株式会社東北イノアック
宮城県遠田郡美里町北浦字二又下28番地
TEL: 050-3145-6158

販売元:株式会社イノアックコーポレーション

東北営業所 宮城県仙台市青葉区五橋1丁目6-2 KJビル9F
TEL: 022-713-7121

サーマックス | 検索

唱を、学生時代を彷彿させる大合唱で締めくくりました。(青年部長 早坂 徹・39回)

■第11回三役会

(11月8日(木)・建友倶楽部・5名)

・運営委員会、本部役員会、総会の日程について
・次期役員改選について

■第64回運営委員会

(11月27日(火)・建友倶楽部・17名)

■建築科・建友倶楽部交流会

(11月27日(火)・建友倶楽部・23名)

同級会便り

◆19回生同級会



【H30.11.1古川「よきもの喜沢」出席18名】

毎年恒例19回生同級会【六無会】。相変わらず病氣と薬の話が主でしたが、同級生の砂金

君が長年の功績を評価され、国土交通大臣より表彰を受けるという慶事もあり大いに盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、来年も元気な再会を約束し解散となりました。(武部文雄 記)

◆29回生同級会「還暦祝い」



【H30.12.29古川「古梅荘」出席13名】

前回の同級会がいつだったか思い出せないくらいの久々の同級会でした。年の瀬も押し迫っての同級会でしたが、13名の出席を得て開催されました。皆60歳ということもあり、健康面の話やら定年の話などあまり盛り上がる話で無い話題で盛り上がりました。今回の同級会のきっかけは9月に行われた「大河内五郎先生を偲ぶ会」で数名の同級生が集まった際、久々に同級会をとの声が出ての集まりでした。今回を機に近年中にまた開催できるようにしたいと思いますので、今回参加できなかった皆様よろしくお願ひいたします。(猪股昭一 記)

祝! 国土交通大臣表彰!

平成30年7月、砂金隆夫氏(19回)が国土交通大臣表彰を受けた。長く建築設計監理業に精励するとともに、関係団体の役員として地方業界の発展に寄与した事による。

「国土交通大臣表彰を受け」砂金隆夫(19回)

この度、国土交通大臣表彰を拝受いたしました。

建築設計監理業に於いては、公共団体、地域の皆様により、昭和54年3月に設計事務所を開設してから今まで御支援頂きました。建築士会については平成8年度から理事、平成18年度から副会長、22年度から現在まで代表理事会長として会の運営に携わってきました。



建築士会に入会し今日まで地震災害の連続で、数々の大きな地震を体験しました。中でも、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、大津波を伴い県内各地に甚大な被害をもたらしました。各支部会員の安否、被災状況を確認、連合会と協議、被災会員の会費減免措置を行いました。

同年7月に開催された、神戸市でのシンポジ

ウムにおいて、被災状況と建築士による応急危険度判定について討論を行いました。私は、自身で確認した状況を画像と共に発表。その後、全国各地で被害状況と建築士の初期活動を報告する機会を得、宮城県建築士会会員の諸活動について報告してまいりました。

また、平成27年3月、仙台市で開催された「国連世界防災会議パブリックフォーラム」では、宮城県建築士会会員の被災建築物応急危険度判定活動を全世界に向け発信しました。

現在宮城県では、復興の発展期に入り、各地の復興が終盤に差し掛かっています。建築士会でも女川町竹浦高台移転に際し、連合会と協働して携わり、一昨年10月に完成引渡しを行っております。これら災害復興の対応も授賞理由の一因ですが、応急危険度判定、被災者住宅相談、復興住宅高台移転など会員皆様の御協力の賜物です。この様に、此度の受賞は私個人だけに賜ったものではなく、皆様と共に拝受したものと考えます。

今後は、建築関連業に携わる者として防災・減災に益々努めていく所存です。これまで導いていただきました皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

資格取得者

次の方たちが、資格を取得されました。心から祝意を表します。(平成30年7月以降判明、事務局把握分)

◆二級建築士

6610 大黒 さやか

運営維持カンパご協力者

皆様の熱い思いに感謝致します!

【H30.7.1~12.31】敬称略

恩師 石岡 恒一	5,000	円
29回生同級会	3,280	円
匿名	1,000	円
匿名	2,000	円
213 佐々木 繁雄	1,000	円
413 軽部 久	2,000	円
912 鹿野 功	5,000	円
1021 柴田 重男	5,000	円
1038 千葉 三男	1,000	円
1233 高橋 昂	3,000	円
1305 五十嵐 直喜	2,000	円
1335 近岡 鉄男	2,000	円
1540 本田 忠	3,000	円
1742 門田 純一	2,000	円
1804 出野 芳典	2,000	円
1844 吉田 直三郎	5,000	円
1901 赤井 正輝	5,000	円
1942 升 秀市	2,000	円
2022 主藤 雄次	1,000	円
2031 千田 佳正	1,000	円
2321 千田 喜美夫	5,000	円
2324 白石 崇	3,000	円
2330 千葉 辰雄	2,000	円
2331 直枝 正志	3,000	円
2341 渡邊 清勝	3,000	円
2425 高橋 寛男	2,000	円
2437 堀籠 友晴	1,000	円
2512 菊地 敏	2,000	円
2541 板垣 力	2,000	円
2613 小出 順一郎	5,000	円
2705 江村 克志	5,000	円
2730 佐藤 俊彦	2,000	円
2737 中川 俊夫	3,000	円
2821 佐々木 照幸	2,000	円
2901 浅野 智雄	1,000	円
2905 猪股 昭一	1,000	円
2921 斎藤 喜久夫	2,000	円
2927 杉浦 洋一	1,000	円
3007 内海 正	2,000	円
3206 小島 清春	1,000	円
3311 大場 善浩	3,000	円
3329 高橋 広幸	3,000	円
3402 石川 雅博	2,000	円
3426 鈴木 幸治	2,000	円
3433 早坂 憲司	2,000	円
3614 佐々木 昭	2,000	円
3622 鈴木 広行	2,000	円
3623 高橋 誠一	3,000	円
3719 鎌田 良和	1,000	円
3731 千葉 誠志	1,000	円
4004 熊谷 太志	2,000	円
4014 斎藤 健一	3,000	円
4133 本田 敏明	8,000	円
4134 三浦 秀悦	2,000	円
4219 佐藤 昌運	2,000	円
4501 青田 文尚	2,000	円
4608 喜藤 純也	1,000	円
4625 高橋 順子	2,000	円
4802 伊藤 亜紀	1,000	円
4837 横山 靖佳	3,000	円
5538 結城 悟	1,000	円
6213 日下 健	3,000	円
6506 伊藤 祥	2,000	円
6627 菅原 麻衣	3,000	円
6813 加藤 廉	2,000	円
6908 大澤 大陽	2,000	円
合計	66名	161,280 円

宮澤館長新連載!



宮澤 忠一 (古工建友倶楽部館長・21回生)

今、人生をより健康で心豊かなライフスタイルをつくる生涯スポーツとして注目されているのがパークゴルフ(PG)です。PG愛好者は全国で130万人とされています。その人気のPGは、35年前北海道幕別町でうまれました。東北では、大崎市田尻の加護坊PG場が26年前に完成し、今年で入場者数120万人を達成しました。



私のPG歴は15年、退職後は週4日、県内5つのPG場を日替わりで楽しんでいます。一日の歩行距離は平均8km、いい運動になります。無理なく体づくり。老若男女どんな世代の方にもお勧めします!

新規賛助会員のご紹介

*燃えにくい断熱材といえばサーマックス。東北生れの断熱材です。

(株)東北イノアック

代表取締役社長 松田 行司 様

〒987-0005 遠田郡美里町北浦字二又下28
TEL050-3145-5836

https://www.tohoku-inoac.co.jp/

~ 古工化学会会長加藤昭造様を介しご入会 ~
<紹介者: 会長早坂竜太>

平成30・31年度

年度会費 各2,000円

お近くの郵便局より同封の振込み用紙にて記載分をご送金下さい。

★銀行からも振込めます!

【振込先口座番号】

七十七銀行南古川支店

普通5233852

古川工業高等学校建友会会長

早坂竜太

「大河内五郎先生を偲ぶ会」厳かに

第2代古工建友倶楽部館長 大河内五郎先生が平成30年3月21日 享年69歳で逝去された。大河内先生のこれまでの功績を労い、感謝する場として平成30年9月8日「大河内五郎先生を偲ぶ会」が開催された。大河内家より奥様の裕子様をお迎えし、建友会員、関係者など約80名が出席。生前の大河内先生を偲んだ。



奥様よりご挨拶を頂戴した後、大河内先生の武勇伝と愛情溢れるエピソード満載のテーブルスピーチ。思い出のDVD放映では涙を浮かべる出席者も。古川工業建築科一筋勤続39年。「建築は愛」だと説き、豪快にお酒を飲み、愉快に笑う。そんな大河内先生の姿がそこにあるような、和やかで心に沁みる会となりました。



70才以上の会員の皆さまへ

平成26年度より、70才以上の先輩会員の皆様は年会費 2,000円 が免除となっております。31年度から該当するのは20回生の皆様です。同封の振込用紙には会費納入金額の記載はございませんが、可能な範囲で「維持カンパ」へのご協力をお願いしております。これまで同様、後輩たちの奮闘と建友会の運営を温かく見守りくださいますよう、お願い申し上げます。

古工建友会「本部役員会」と「総会」のご案内

古工建友会会長 早坂 竜太

下記の内容で「総会」を開催致しますのでご案内を申し上げます。尚、一般会員の皆様は総会のみでの参加となります。

日時：平成31年4月13日(土) 15時~「本部役員会」
同上 16時~「総会」

場所：古工建友倶楽部 Tel 0229-24-3711
大崎市古川北稲葉3-13-21

※会場準備の関係上、出席される方は建友倶楽部までご連絡ください。

編集後記

■平成最後の建友会報をお届けします。私が母校建築科に採用されたのが平成2年の4月。当時の建友会報は、菊池先生がおひとりで編集されており、新任の私はその後を引き継ぐことに。初めて担当した会報26号!『女子の1回生入学』がトップニュースでした。あれから30年。■さて、平成の次は、どんな時代が待っているのか...。今年、母校は創立85周年。建友会は創設47年目へ。明るい未来に期待を寄せて!(☺)

【古工建友会報 第83号】

平成31(2019)年2月1日 発行
発行人:早坂 竜太(37回)
運営委員長:猪股 昭一(29回)

〒989-6145
宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21
古工建友倶楽部内
Tel&Fax 0229-24-3711

【会報編集 STAFF】

- 編集部長:遠藤 ゆり(45回)
- 副部長:小林 弦(41回)
- 部員:千葉 敏明(20回)
- ":佐藤 忠徳(21回)
- ":岡 好和(34回)
- ":高橋 誠一(36回)
- ":遊佐 忠行(38回)
- ":遠藤 秀春(47回)
- 事務局員:小林恵美子



【印刷所】 ハック印刷 Tel 0229-23-8900
〒989-6135 大崎市古川稲葉1-1-29